

## 野次

議員になり、唯の一度も誰かを野次ったことのない僕ですが、今回の一般質問では野次り倒されそうになりました。30人を超える傍聴席からは恫喝ともとれる野次が飛んだのです。僕が主張したのは「総会前に会員に資料を渡す」「帳簿類や領収書は求められたら見せる」「役員決めは明らかなどころで行う」という当たり前のことでした。町内会と言えども、市民のみなさんから徴収した町内会費は「公金」です。その使い道は明らかにしなければなりません。例えば、予定になかった町内会慰安旅行を行い、集めた費用の倍近い金額を町内会で補助する。そりゃあ行った人は楽しいでしょうけれど、行かなかった大多数の人は何の断りも無く自分のお金を使われたことになります。その時に、「そんな使われ方は嫌だ！」と主張するには、まずその収支報告書が必要です。そして、総会でそのことを主張するのが筋です。でも、総会には出席すら出来ず、総会が終わってから回覧で回すようなやり方では、永遠にその主張は実現しません。6月議会では一番大きな町内会ということで野寺町会を取り上げましたが、他にも同じような総会、同じような会計処理をしている町内会はあると思います。「町内会にも入っていない議員が他の町会の事に口を出すなんて」とも言われました。おとなしくしていないと「ビラを撒く」とも言われましたが、気にしません。真実が僕の味方だからです。「領収書を見せる必要はないと思います」と胸を張って言われても、誰も納得しない時代になってきているのです。胸を張りたいのなら、会計帳簿も領収書も見せればいいのです。役員選挙も総会で堂々とやればいい……。僕はどこかの町内会の代表ではありません。どこの組織とも何のしがらみもない、市民代表の議員として、信念を持って活動しています。市内には不満を持ちながら町内会に入っている人もいれば、町内会に入っていない人もいます。僕はその人達の代弁者でもあるのです。6月19日に野寺2丁目の「旭ヶ丘自治会」(野寺町会全体の9%を占める)が野寺町会から脱会しました。これからの自治会活動に注目していきたいと思います。

## 避難

6月議会では3月11日の児童生徒への対応の悪さも問題にしました。震災当日の生徒児童の下校方法は学校によって様々で、小学校での親の引き取りは2校だけでした。結果としては何事も起こりませんでした。家に子ども達だけで、大きな余震があったら・大変なことになっていた可能性があります。学校は避難場所になってるのです。どこにも連絡が取れず帰宅難民になった親たちは(学校にいてくれるはずだ)と思った人達も多かったはず。学童保育室にいたっては、指導員が情報を得る機器(ラジオ・テレビ・パソコン)が無かったために、帰宅難民が出ていることすら知らず、下校させてしまったケースもあるようです。子ども達を守る為には、普段から学校と学童保育室の連携を強化し、災害時には協力して子ども達の安全にベストを尽くす体制作りが必要だと思います。そのマニュアル作りに「社協、保育室の指導員、保護者の意見を取り入れていく積りは？」との質問に、教育長の答弁は「マニュアル作りの策定委員会には入っておりません」というものでガッカリしました。連携と押し付けは違うのです。

## 続八石小学校東門

この議会での唯一の嬉しい答弁は「八石小東門前の道路の拡幅工事を夏休み中に行います」というものでした。昨年から訴えていたことがやっと実現するのです。本当に嬉しいですねえ。。



僕の新しい友達です。真理さん(左)と詩子(右)さんです。二人は大親友で学校一の秀才と学校一の不良だったそうです。詩子さんは天才彫刻家で音楽家。不良だったなんて、信じられませんね。

読み終わりましたら、お知り合いの方にさしあげてください m ( \_ \_ ) m